

## 新たな訓練メニューのご提案（住宅用火災警報器の一斉点検）

### 1 概要

自治会・町内会では、参加者を集め、初期消火訓練（初期消火器具・消火器取扱い等）や救護訓練などの防災訓練を実施していただいているところです。

この度、新たな訓練メニューとして、「住宅用火災警報器の一斉点検」をご提案させていただきます。

コロナ禍で集まって訓練をすることが難しい自治会・町内会や防災訓練を初めて実施しようと考えている自治会・町内会でも気軽に取り組める内容です。また、これまで実施している訓練とあわせて行うことも可能です。

住宅用火災警報器は、火災の発生を早期に知らせしてくれる機器で、いざという時に正常に作動するように点検することが重要です。

ぜひ、訓練を企画する際の参考としていただくようにお願いします。

- 住宅用火災警報器とは、壁や天井で火災による煙や熱を感知し、音声や警報音により火災発生を知らせるもので、火災の早期発見に大変有効です。
- 住宅用火災警報器の寿命は約 10 年と言われており、2011 年 6 月の設置義務化から 11 年が経過したことから、今後、設置されている住宅用火災警報器の電池切れや故障等で、気づかぬ間に火災を感知しなくなる恐れがあります。
- 住宅用火災警報器がいざという時に適切に作動するように、定期的に点検していただくことが重要です。

### 2 訓練の内容

- (1) 実施場所：各ご自宅
- (2) 実施内容：ご自宅に取り付けられている住宅用火災警報器をご自身で点検
- (3) 実施日時：各自治会・町内会で日時を決定して一斉に実施



### 3 一斉点検の流れ（一例）

- (1) 点検日時を決定し、掲示板等により周知します。（別添参照）
- (2) 点検日時が決定しましたら、港北消防署に事前にお知らせください。
- (3) 点検日当日は、各家庭において住宅用火災警報器の点検を実施します。

※上記は一例であり、地域で工夫しながら実施してください。実施方法についてはお気軽に港北消防署にご相談ください。

#### 4 住宅用火災警報器一斉点検のメリット

- (1) コロナ禍においても「集まらない防災訓練」が実施できる。
- (2) 一斉に鳴らすため、火事と勘違いされない。
- (3) 自宅で訓練に参加できるため、参加者の裾野が広がる。
- (4) 一斉点検を通じて、高齢者等の防火・防災対策の促進につながる。

#### 5 消防署の支援

- (1) 一斉点検方法等のチラシ（別添）の提供やデモ機<sup>※1</sup>の貸し出しをいたします。  
※1 地域内で住宅用火災警報器の点検方法等を説明する際にご活用ください。
- (2) 点検結果に基づき希望する高齢者宅への戸別訪問<sup>※2</sup>を実施します。  
※2 消防職員による器具の取付け支援や防火防災についてのアドバイスを行います。
- (3) ご不明な点等がありましたら、お気軽にご相談ください。

港北消防署総務・予防課 電話／FAX：045（546）0119 担当：千葉・飯田・金井・鳥海
--

## 住宅用火災警報器を

# 〇月〇日( )〇時から

# みなで点検します!

住宅用火災警報器の義務設置から今年で11年が経過します。  
電池の寿命は約10年です。

気付かないうちに電池が切れているかもしれません。

「音を鳴らすと近所に火事と勘違いされないか?」と心配される方もいることから、〇〇自治会全体で下記日時に一斉に点検を実施します。

### ※ご自分で点検してください

港北消防署と〇〇自治会と事前に調整済みですので安心して点検してください。

### ※点検した際、器具の不具合についての相談は...

港北消防署 (546) 0119 に御相談ください。



## 点検日時：令和4年〇月〇日 ( )

## 〇：〇〇 ~ 〇：〇〇

### 点検方法



ボタンを押します

ひもを引っ張ります

長い棒などで押します

★ 点検の際は、安定した足場を確保し、転倒や転落等に注意してください。

状況によっては、長傘や棒でテストボタンを押すなど安全に注意し点検しましょう!

・器具が正常な場合には、「音声」や「警報音」が鳴ります。

・何も反応しない

・設置から10年以上経過している



新しいものに交換しましょう!